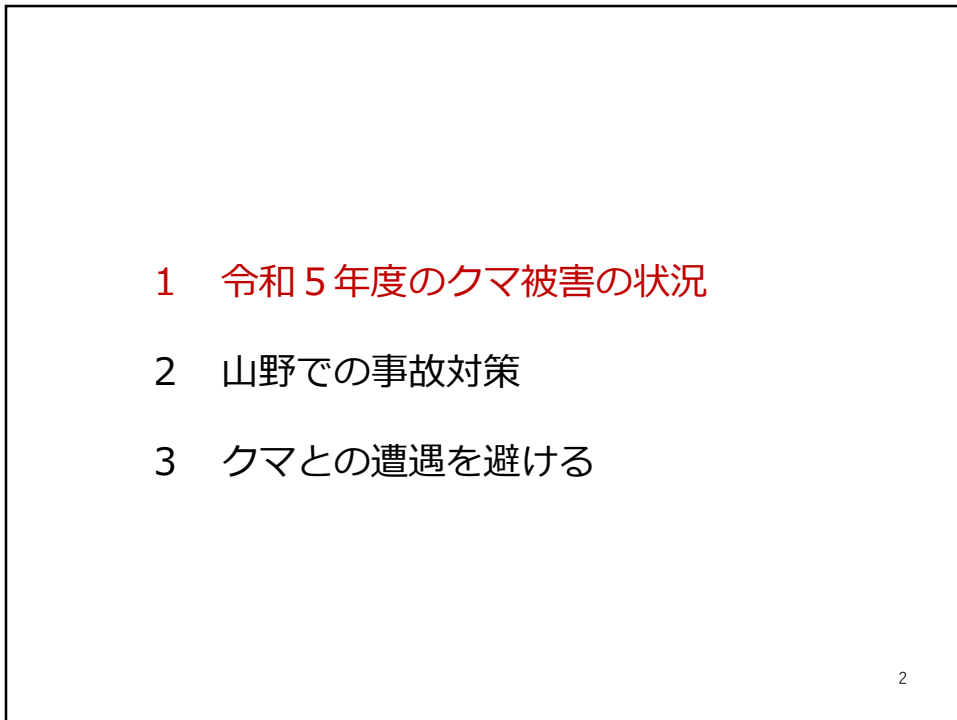




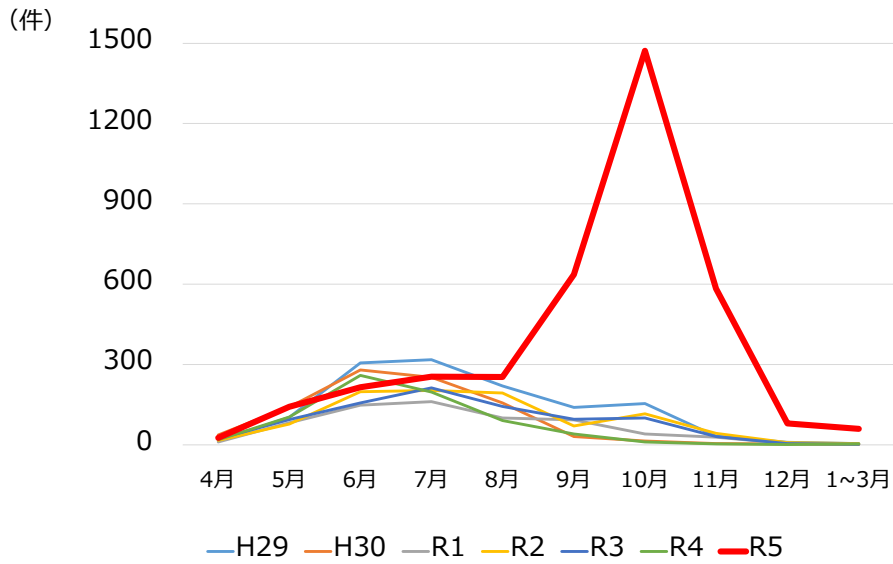
1



2

ツキノワグマ目撃件数

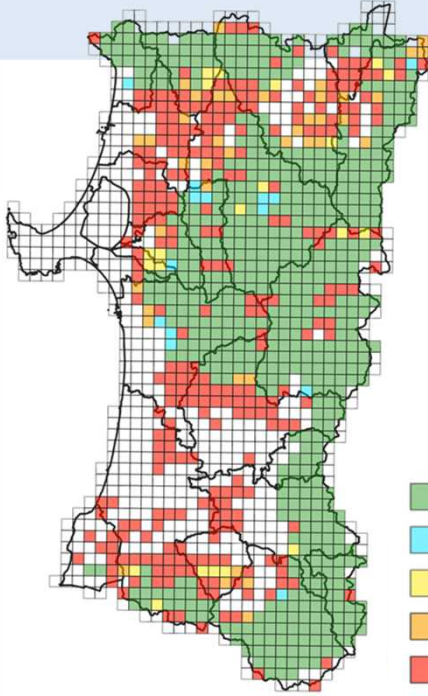
秋田県警しらべ



3

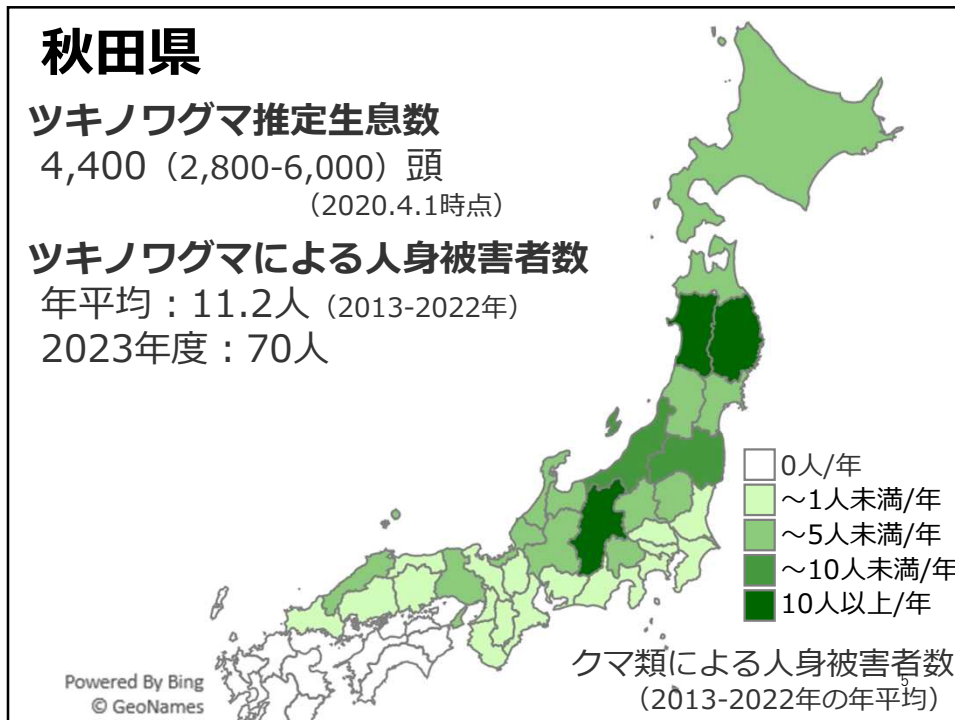
3

クマの分布拡大

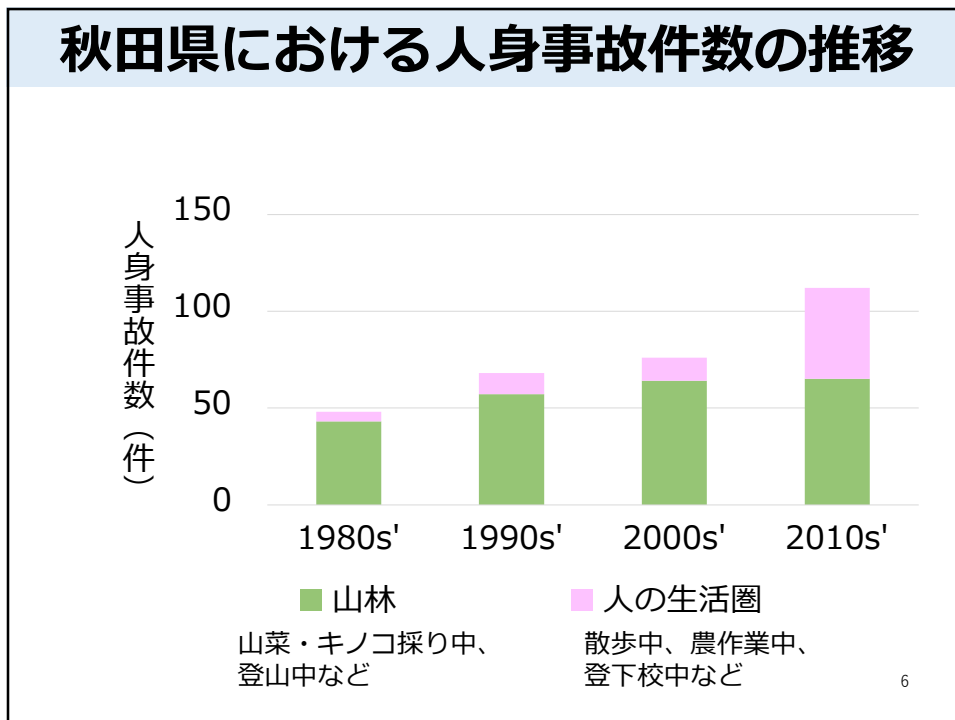


- 第1次ツキノワグマ管理計画 (H15~)
- 第2次計画追加メッシュ (H19~)
- 第3次計画追加メッシュ (H24~)
- 第4次計画 (当初) 追加メッシュ (H29~)
- 第4次計画 (変更) 追加メッシュ (H30⁴~)

4

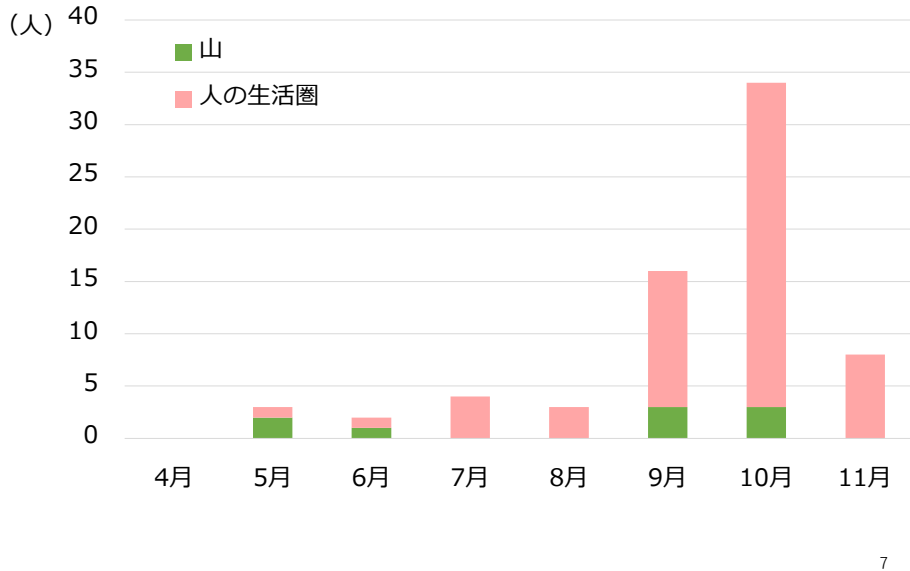


5



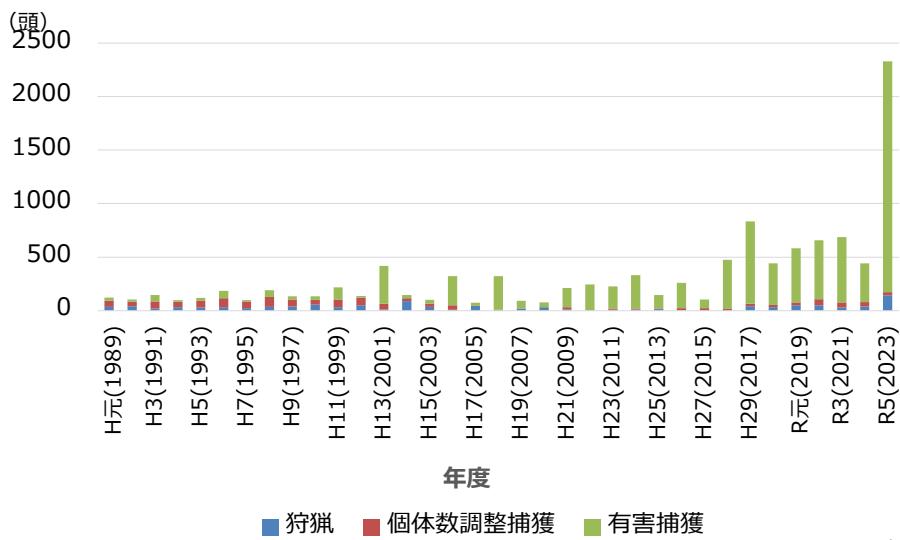
6

R5年度の人身被害発生状況



7

秋田県におけるクマ捕獲数



8

1 令和5年度のクマ被害の状況

2 山野での事故対策

3 クマとの遭遇を避ける

9

9

美の国
あきた
ネット
秋田県公式ウェブサイト

戻る 分野別 部署別 音声読み上げ

サイト内を検索する
キーワード・コンテンツ番号を入力

Foreign language (Google Translation)
Select Language

ツキノワグマ情報

山野での事故対策

- ・ 入山禁止エリアには入らない
- ・ 積極的に人に接近するクマに会ったら通報を
- ・ 音出しにより人の存在をアピールする
- ・ 複数で行動する
- ・ ゴミは必ず持ち帰る
- ・ 揮発性物質（クレオソート・ガソリン・灯油など）を現場に放置しない

10

10

ツキノワグマ情報

入山禁止！！
積極的に人に接近するクマによる事故が発生しています！

以下の地域では、人が集めた山菜を奪う・積極的に人を襲うなど、危険性の高いクマによる人身事故が発生しています（H28, R4）。

このようなクマについては、鈴やラジオ等の一般的な対策では事故を防ぐことが困難です（※）。非常に危険ですので、入山禁止地域には絶対に立ち入らないでください。

- ・ [鹿角市十和田大湯地区](#)
- ・ [鹿角市八幡平地区](#)
- ・ [仙北市玉川地区](#)

※積極的に人に接近するのは特定の限られたクマであり、ほとんどのクマは人の気配を感じると逃げるので、鈴やラジオなどの音出しは有効な事故防止策です。

県内で発生した大半の事故は、鈴やラジオなどを持たずにクマと鉢合わせをした結果、起きています⁴¹。入山可能なエリアでは、音を出すことで鉢合わせによる事故を避けましょう。

11

！重要！

ただし、
誤解しないでください!!!

「鈴やラジオなど一般的な遭遇対策は効果なし」はあくまで

**人に積極的に接近してくる
 特定の個体に対しては**です！

12

12

基本的に人を避けて生活



13

13

！重要！

~~「最近のクマは鈴やラジオの音に寄ってくる」
「音を立てるとかえって危険」
「鈴やラジオでは事故を防げない」~~

**大半のクマは音などで人に気付けば逃げる
⇒音出し、声出しによる
人の存在アピールは
やっぱり基本！**

14

14

！重要！

「音出し・声出しは基本」と呼びかけを。

ただし、同時に

「もし人に気がついていながら寄ってくるクマ、
人の荷物やゴミをあさるクマがいたら
必ず通報してください」とも注意喚起を。

積極的に接近してくるクマの情報が寄せられたら

- ・ 入林規制や捕獲活動の展開などの対応を
- ・ 県自然保護課とも情報共有してください

15

15

- 1 令和5年度のクマ被害の状況
- 2 山野での事故対策
- 3 クマとの遭遇を避けるために

16

16

①クマにバッタリ会わない

誤解
です！

「最近のクマは鈴の音に寄ってくるから
音を立てても意味が無い・
音を立てた方がかえって危険」

⇒人に気がついていながら寄ってくるクマ、
人の荷物やゴミをあさるクマがいたら
必ず通報を！！

17

17

②それでもクマに会ってしまったら

落ち着け

「遭遇 = 即攻撃」ではない

よくある
誤解

「クマが立ち上がって
威嚇してきた！」



18

いかく
クマの威嚇の声



19

19

②それでもクマに会ってしまったら

落ち着け

走って逃げるは禁忌

クマの動きを見ながら**ゆっくり後ずさり**
(クマとの距離をとる)



20

20

③もし攻撃を受けそうになったら

(山林作業中で付近に建物や車両がある場合)
建物・車両の中に避難



21

21

③もし攻撃を受けそうになったら

防御姿勢



22

③もし攻撃を受けそうになったら

クマスプレー



23

もし事故が発生したら

**どのような事故だったのかを検証し、
連続発生のおそれの有無を
迅速に判断する必要があります**

- ・速やかに振興局→自然保護課へご連絡ください
- ・被害者連絡先の確認を
- ・被害者の持ち物、衣服はなるべく保存を
- ・できる範囲で情報収集を
 - －事故発生場所（ピンポイントで）
 - －事故発生時刻
 - －加害したクマの数・構成（親子/単独）
 - －被害者の行動・鈴などの対策の有無

24

24